

2/25 火

## 河野行政改革担当相の発言ポイント

- 新型コロナウイルスワクチンの高齢者接種に關し、開始予定の4月中は地域や年齢を限定
- 米ファイザー製ワクチン増産は5月以降
- 大都市の高齢者接種は、目標の「2カ月3週間」での終了は難しい。65歳未満の接種も地域によりずれ込む可能性
- ワクチン供給と接種の日程は今週中に練り直す
- 基礎疾患のある人に診断書提出を求める、自己申告とする

# 高齢者接種遅れる公算

## コロナワクチン 4月供給限定的

政府が進める新型コロナ

歳以上の高齢者約三千六百万人への実施が極めて限定的になり、遅れる公算が大きくなつた。河野太郎行政

改革担当相は二十一日のN H K番組で、米ファイザー製ワクチンの生産能力増強が五月以降になるとして「四月までは非常に供給量が限られる」とした。「二カ月二週間」で終える目標の

高齢者接種を、人口の多い大都市で順調に完了するの

は難しくと指摘した。『新

型コロナ関連②⑥⑦⑩面

未定の部分が多いワクチ

ン供給と接種の日程に関し

「今週中に、ある程度の決

断をしなければいけない」

と述べ、計画を練り直す意

向を示した。高齢者以外の接種日程にも影響する可能

性がある。自治体が具体的

に準備を進められない状況

について、「申し訳ない」と陳謝した。

高齢者への接種は全国一

斎ではなく、一部の自治体

で試行的に始める考え方を表

明。百歳以上から始めて年

月二週間」で終える目標の

では把握できていない」と述べた。

村崎久厚生労働相と対応を協議する考えを示した。仮に一回で済めば接種日程の改善が予想される。

厚労省が「十日発表した

一回の接種でも効果を発揮するとの海外の調査結果を

巡り「一回でも効果があり、日本でもそのやり方で

いこうとなれば、打ち方は

なる六十歳未満の接種も地域によって「ずれ込む」と

が想定される。

六十五歳未満のうち基礎疾患のある人には診断書の提出を求める、自己申告制

を受け付ける考え方を明らかにした。「診断書をもらうのは手間がかかる。基礎疾

患があるかどうか、自治体

副反応疑いの一例を巡り、「副反応をゼロにはできない。リスクより得られる効果の方が大きいと説明した」と強調した。